

東野圭吾 2013年 エンタメ界 最大のサプライズ 全身全霊の挑戦

祈りの幕が

下りる時

全国一斉発売
9月13日

「東野圭吾の新刊が出るらしい」。「いつ出るのか?」「タイトルは何?」。販売会社や書店など、出版業界で囁かれてきた噂。

しかし、その情報はずっと限られていた。

「いつもはサービス精神満点の東野さんなのに、いったいどうしたのか?」

「いったい、東野さんは何をやるのか?」

そんな業界内や東野ファンの想いが高まる中、

8月9日 講談社文庫刊『新参者』の

オビ表4 (写真参照→) で、

ついに書き下ろし新作の存在が明かされた!

タイトルは『祈りの幕が下りる時』。発売日は9月13日。

様々な出版社から、あまたの作家が力作・傑作を続々と発表し、

ミステリーのベストワンに名乗りを上げるこの季節に、堂々と刊行される東野最新書き下ろし。担当編集者は、作品の完成と発表にあたって、こう語っ

ている。

「東野圭吾という名の謎。その頭の中はどうなっているのか。

ミステリーの形をとった“奇跡”にお立会いください」担当K

東野圭吾氏が満を持して放つ『祈りの幕が下りる時』は、

ミステリーの形式、小説という枠組みを踏まえつつ、しかしそれを超えた

2013年エンターテインメント界のサプライズとして結晶した「最高傑作」だ。

ますます期待が高まる中、初版部数20万部で刊行される『祈りの幕が下り

る時』。東野ファン以外の新たな読者たちの心をも震わせる日が来るのは、

もう間もなくだ。

ますます期待が高まる中、初版部数20万部で刊行される『祈りの幕が下り

る時』。東野ファン以外の新たな読者たちの心をも震わせる日が来るのは、

もう間もなくだ。

東野圭吾(ひがしの・けいご)

1958年、大阪府生まれ。大阪府立大学電気工学科卒業後、生産技術エンジニアとして会社勤めの傍ら、ミステリーを執筆。1985年『放課後』(講談社文庫)で第31回江戸川乱歩賞を受賞、専業作家に。1999年『秘密』(文春文庫)で第52回日本推理作家協会賞、2006年『容疑者Xの献身』(文春文庫)で第134回直木賞、第6回本格ミステリ大賞を受賞。本書は「加賀シリーズ」8作目であり、最新作は『麒麟の翼』(講談社)。近著に『虚像の道化師』『禁断の魔術』(ともに文藝春秋)、『夢幻花』(PHP研究所)などがある。

2013年最大のサプライズ
最新作9月13日、ついに刊行!
『祈りの幕が下りる時』
東野圭吾という名の謎。
その視線の先には何が見えているのか。

定価: 1,785円(税込)

ISBN: 978-4-06-218536-3

東野圭吾を超えるのは東野圭吾だけ!
1999年『白夜行』、2005年『容疑者Xの献身』
そして2013年 新たなる最高傑作の誕生。

講談社
KODANSHA

講談社 メディア推進部: 〒112-8001 東京都文京区音羽 2-12-21

Tel 03-5395-3961(直通) Fax 03-3946-6200

Mail medias@kodansha.co.jp

担当: